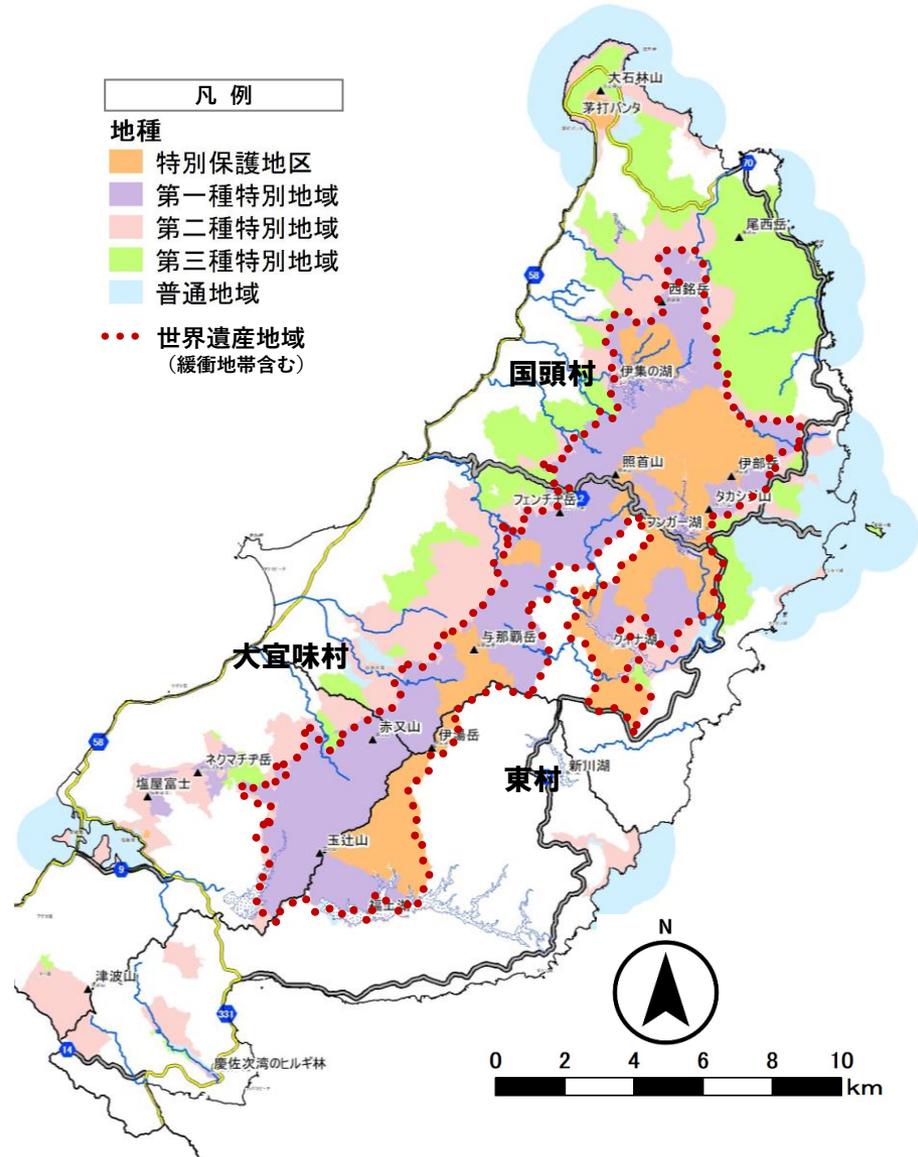


■ やんばる国立公園における滞在体験の魅力向上に向けた基本構想

→ やんばるの魅力と目指す姿

■ 対象地域 | やんばる3村(国頭村・大宜味村・東村)



■ やんばるの魅力と課題

- やんばるの魅力 ●
- やんばるの森の生物多様性の高さや独自の自然環境
 - 地域の中で受け継がれてきた自然と共生した文化、景観とそれを守ってきた人々
 - 自然と共生する暮らしと、人との繋がりを感ぜられる集落の暮らし、自然と共生し保全しながら活用してきた産業
 - 自然や文化に触れ、地域で育まれてきた価値観を学ぶ、本物の体験

- やんばるの課題 ●
- 自然環境保全に向けた地域の共通理解形成が不十分で、来訪者に対しても協力を促す取組も必要
 - 地域に対する愛情や興味・関心の希薄化、集落の活気が低下
 - 来訪者の受入体制、利用の恩恵を自然環境や地域社会が享受できる仕組みづくりが不十分
 - 地域人材の不足

● やんばるの目指す姿 ●

人と自然 多様な生命を紡ぎ・育み、風の人と共に歩むやんばる

※風の人 | 外から関わる人

■ やんばるの特性



● 固有種 ●

希少な生き物たちが息づく、「世界で1つだけ」の場所



● 生物多様性 ●

多様でユニークな生き物たちの宝庫、「やんばるの奇跡」



● 歴史・文化 ●

自然への「祈りと感謝」、森に眠る先人たちの暮らし跡

